

「マリン・ハウス」通信

令和6年6月号



皆さんで外食に出掛けました。

連日の夏日が続き、屋内でも熱中症が心配される季節となりましたが、とようみ工房では水分補給をしっかりと行い、換気や扇風機を上手に使い体調を崩さないよう日々配慮をしています。

さて、とようみ工房では先日、皆さんで外食グルメツアーに出掛けました。場所は創業50年も地域に根差したお蕎麦屋さんで、ご主人と出汁の優しい香りが出迎えてくれました。予め皆さんの希望を伝えてあったので、待つことなく料理が次々と運ばれてきます。出汁にお蕎麦屋さんの優しいカレーに乗った“カレー南蛮”や、サクサクに揚げられた種類豊富な“天ぷらそば”に“天もりそば”。丼ものでは定番の“かつ丼”に“天丼”。どんな言葉



よりも、皆さんの黙々と食べ進める姿とこぼれる笑顔がその美味しさを物語っていました。「美味しかったね」「次は何を食べようかな？」など、食後の会話も自然と声が弾んでいました。お店の方へも「ごちそうさまでした！」と精一杯の感謝を告げ、地域の方々との良い交流の機会ともなったグルメツアーでした。



新型コロナウイルス等の影響もあり、長らく外食を控えてくださっていた皆さんですが、フレンス東金、たま工房でも久しぶりに事業所近くの焼肉店へ外食に出掛けました。たくさんの種類のお肉をはじめ、サラダに麺類、デザートと豊富な食べ放題メニューに皆さん自然と笑みがこぼれます。



ほとんどの利用者様がタッチパネルを利用した注文が初めてで、始めのうちは使い方に戸惑われていましたが、すぐに操作を覚えて和気あいあいと楽しい時間を過ごされていました。言うまでもなく、どのメニューもとても美味しかったと喜ばれていました。ぜひまた皆さんで行きたいですね。



さつまいの植え付け作業を行いました

マリン・ハウスでは、地域の方のご厚意で畑を貸していただき、さつまいの苗植えを行いました。畑主さんから植え方の説明を受け、時にはお手伝いをいただきながら、一つずつ丁寧に植え付けを行いました。

さつまいの“つる苗”を初めて見る方も多く、「どこから芋ができるの？」



「いつ芋掘りできるの？」など皆さん会話も弾み、沢山あった苗もあっという間に植え終わりました。最後に「大きく育ちますように」と願いを込めて如雨露でたっぷりと水を撒きました。今から秋の収穫時期が楽しみです。

東屋が完成しました

マリン・ハウスの敷地内に、東屋が完成しました。東屋(あずまや)というと日本風の建物が想像されますが、今回設置された物は“ガゼボ”という西洋風東屋。中には椅子や特製のベンチが置かれ、ゆったりとくつろげるようになり、足湯などを楽しむ場としての活用も検討されています。本格的な暑さを迎えるこれからの季節、利用者の皆さんの新たな憩いの場として活躍が期待されています。



地域の清掃活動に参加しました

なぎさ苑では地域のゴミゼロ運動に参加しました。お天気も良く少し汗ばむ陽気でしたが、自分達の住む地域をきれいにしようと、皆さん進んで参加して下さいました。



小さなゴミも見落とさないように隅まで捨ててくださったおかげで、目に見えてきれいになりました。地域交流にもつながり、皆さん達成感を得られたご様子でした。



ギネス記録へ挑戦

6月15日、「千葉県誕生150周年記念事業」の一つ、「手首をつないだ人の最も長い列」のギネス記録挑戦に参加してきました。



事業所近くの九十九里有料道路が会場となり、“未来へつなごう！千葉の海”をスローガンに、総勢4,554人の挑戦者の方々が1.5kmに渡り道路上を埋め尽くすその光景は圧巻でした。当法人からも利用者の方、職員合わせて120名程が参加いたしました。雄大な九十九里浜をバックに太鼓の生演奏なども催され、イベントは大いに盛り上がりました。多くの方と共に一つの事に挑む貴重な体験に、緊張されている方や楽しそうにしている方、長い距離を皆で励まし合いながら歩く姿など、普段の生活では見られない様々な表情が見られていました。結果として、参加人数は世界記録を上回ったものの、規定時間にわずかに届かず記録達成とはなりませんでした。



達成とはなりませんでした。今回体験できたことは皆さんの心に一生残る良い思い出となりました。

【お問い合わせ先】
自立支援センター マリン・ハウス
千葉県大網白里市南今泉 4832-7
TEL : 0475-77-1066
FAX : 0475-77-1067
MAIL: marinehouse@purple.plala.or.jp

随時見学体験相談受け付け中！！

<http://marinehousechiba.wix.com/home>